也域おこし協力隊だより

現在、高梁市では9名の地域おこし協力隊員が活動しています。 今月は4名の隊員の活動についてご紹介します。







志鹿優生 大阪府出身

【ミッション】 多文化共生のまちづくり 日本語教室、国際交流













インターナショナルフェスティバル 「1 Day Asia in たかはし 2025」 ~インターナショナルCafe~



こんにちは。今回は、秋の恒例行事!国際交流フェスティバルをご紹介します。 10月5日(日)、高梁総合福祉センターで、「1Day Asia in たかはし2025」が 開催されました。

アジア8カ国(インドネシア、韓国、カンボジア、スリランカ、中国、日本、ネパー ル、ベトナム)で共演し、地域の皆様と交流する楽しいイベントです。

華やかな民族衣装を身にまとった伝統舞踊・歌がステージを彩り、お昼に は、各国自慢の本格料理が無料で提供されます。バンブーダンス体験、伝統衣装 を着た外国の方々との記念撮影会と参加型のプログラムも盛りだくさん!!

自らは、インターナショナルカフェを出店し、イラムティー(ネパール)、セ イロンティー(スリランカ)、阿里山金萱茶(台湾)等、7種類のお茶とお茶請けで おもてなしをさせていただきました。

高梁の皆様、来年も是非、是非、足をお運びください。よろしくお願いしま~す!













ふじはらけいか 藤原恵佳島根県出雲市出身

【ミッション】 吉備国際大学シャルム スポーツ振興に関する活



高梁小学校で「仕事」についてお話しました!

高梁小学校の先生から「子どもたちに地域で働く人の話を届けたい!」と声をか けていただき、先月子どもたちにお話してきました!

自分のこれまでの経験や、地域おこし協力隊として行っている活動について紹介 したところ、子どもたちはうなずいたり、メモを取ったりしながら真剣に聞いてく れました。

協力隊の活動については、普段の仕事の流れや工夫していることなどを具体的に お話ししました。「シャルおこ隊って知ってる!」と言ってくれる子もいて、活動 が少しずつ地域に浸透していることを実感しました。また、サッカー選手としての 経験や、試合や練習での苦労を話すと驚く子どもたちの姿が印象的でした。自分の 経験を通して、何かを感じ取ってもらえたことが嬉しかったです。

今回の経験を通して、子どもたちに仕事や活動の一部を伝えることができ、また 自分自身も仕事を振り返るきっかけとなったため、とても貴重な時間となりまし た。これからも地域での活動やサッカーを通して、少しでも「シャルおこ隊」を身 近に感じてもらえるように頑張っていきたいと思います。





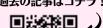




発行:高梁市地域おこし協力隊

地域おこし協力隊だより

現在、高梁市では9名の地域おこし協力隊員が活動しています。 今月は4名の隊員の活動についてご紹介します。







矢田里菜 青森県八戸市出身

【ミッション】 SNSによる情報発信促進と 地域住民との共創による まちづくり

フォトコンテスト開催中!



「吹屋さんぽ スナップ」を チェック!

\情報発信の相談、大歓迎です!/



伝える仕事で出会う、高梁の魅力



秋の光がやわらかく差し込み、まちが少しずつ色づく季節。高梁では、 地域行事やイベントなど、人とまちが動き出す機会が増えました。その一 つひとつに関わりながら、私は"伝えること"の形を少しずつ広げていま す。イベントで企画や撮影を担当し、まちの魅力や人の想いを記録する機 会が増えてきました。ライブイベント「音魂言魂」ではカメラを手に、人 と音が響き合う瞬間を撮影。吹屋の「ベンガラ灯り」では踊り手として参 加し、地域の一員として灯りの輪に加わりました。

最近は、デザインの依頼も増え、"どう伝え るか"を考えながら、新しい表現に挑戦してい ます。また、吹屋観光協会のSNSと連携し「吹 屋さんぽスナップ」フォトコンテスト開催中。 市民の皆さんや観光客の目線からの魅力発信促 進にも取り組んでいます。

これからも、企画・撮影・デザイ ンを通して人とまちをつなぎ、季節 の移ろいとともに変化する高粱の今 を丁寧に届けていきます。







青山美里 埼玉県さいたま市出身

【ミッション】 吉備国際大学シャルム 広報(SNSによる情報 発信)



Instagramアカウント フォローしてね!!

「高梁市人図鑑」更新中!

地域で活躍する方々の想いを届ける「高梁市人図鑑」。

今回は、ご夫婦でイラストレーターとして活動されている田渕さんご夫 妻にお話を伺いました。

お二人は、穏やかで、あたたかくて、そばにいるだけでほっとするよう な雰囲気の方々でした。言葉の選び方や笑顔の中に、お互いへの信頼と創 作へのまっすぐな思いが感じられ、そのやさしさは、描かれるイラストに もそのまま表れているように思います。

これまでに取材した方は7人ほどになり、少しずつ「高梁市人図鑑」と して形になってきています。

それぞれの物語を、ぜひ「note」でのぞいてみてください・・

今後、「高梁市人図鑑」が人と人、 人とまちを結ぶきっかけになればと 思っています。

「note」チェックしてね✓⊣



